



秋の七草がそよぎます九月

東北大地震・熊本大地震、ともにまだ仮設住まいを強いられる人の多い中、石巻にお住まいのNさんは五年の長い仮設住まいから、このたび市営の復興住宅に入れたとのご連絡を受け、心からホッとしています。

☆インド孤児招聘

○ 来日児の自己紹介

() はボラさん感想

○ ガンガ・ラジュ君挨拶



ガンガ・ラジュです。ガンガと呼んでください。機械工学部の最終学年で、20歳です。父は私たち家族のもとを去り、母は精神障害を患っていたところ、ジャナキラムさんにチャイルドホームに連れてきていただき、13年が経ちました。大学は3キロ離れた所にあり、バスで通っています。勉強は難しいのですが、プライベートスクールにも通わせていただいているお陰で付いて行けております。

でお世話して頂いたこと、そして、日本へ招待していただいたことに、とても感謝しております。本当にありがとうございます。

(まじめでとても気がきき、まわりへの気配りもあり、社会に出て立派にやっつけていけることでしょう)

○ アヌシヤさん挨拶



アヌシヤです。アヌと呼んでください。20歳です。父はエイズで亡くなり、母も感染していて治療を続けております。歴史と経済を勉強しており、最終学年です。私自身は感染してないことを確認してから、チャイルドホームに入れていただき、12年間にわたりお世話になり、教育から

生活の全てについて面倒をみていただきました。

このように全て整った環境で勉強させてもらっています。少し健康上の問題を抱えており、歯の治療をしているのと、ヘモグロビンが少ないために薬をいつも飲まなければなりません。このようにお世話になっていくこと、そして日本へ連れてきて頂いたことに感謝を申し上げます。

(慌てず騒がず地に足のついた彼女。薬剤師希望です。エールを送ります)

○ ギータン・ジャリーさん挨拶



ギータン・ジャリーです。ギータと呼んでください。チャイルドホームで最少の16歳です。この前12年生のテストに合格しましたが、大学へは行かずパンやケーキを作るケータリングを習って、将来はホテルで働きたいです。読み書きといった勉強はとても苦手ですが、ジャナキラムさんのアドバイスで、12学年をやり返すことができました。父はトラックの事故で亡くなり、母は自

分が小さいころに亡くなり、小さい村に残された私は、水汲みをする代わり村のひとから食べ物ももらって生活をしていました。そこへ、ジャナキラムさんに導いていただき、教育から生活の全てにおいてお世話していただきました。とても感謝しております。

(ちよつと甘えん坊で、個性の強い彼女、雪山ではしゃぎ、ドイツニerlandで目を輝かせ将来の夢も自分の目の高さで叶えていくことでしょう)

○ 買い物、夜景ツアー

広島から東京に到着し、東京駅近くのホテルでチェックインを済ませ、子ども達の荷物を預け早々に買い物に出かけました。

目的地は、ダイソーやユニクロが入っている複合商業施設「アルカキッ ト錦糸町」。前日、日本に到着したばかりにも関わらず、駅の改札でICカードをかざす姿は板についていました。

まず安価で品数豊富なダイソーから買い物をしました。女子は、髪飾りやアクセサリを中心に、男子も店内を歩きまわって買物を楽しんでいました。共通して購入した物はお土産用のお菓子でした。

あなたに奉仕する機会をもたらしたのは

神からの贈り物、奉仕は至福へ近づく道である



東京スカイツリー

向かい側のユニクロでは、Tシャツやポロシャツの他、女子は姉妹にとチュニックを選ぶ姿が見られ、家族を想う姿に心が温かくなりました。

はとバスによる「夜景ツアー」の乗車時刻が迫ってきたので、買い物物を切り上げて乗車場所に向かいました。

車窓から日本橋、銀座、浅草を眺め、スカイツリーでは展望デッキから夜景を食い入るように見ていました。又、ガラス張りの床の上に立つ体験をしましたが見せていた事が印象的でした。

○ アクアパーク品川

品川駅から徒歩2分の所にある水族館にいきました。レインコートを着用し、海水をたっぷり浴びられる最前列で、イルカのショーを見ました。海水を浴びると歓喜をあげ、笑顔があふれました。海中トンネルでは、見上げるように水槽内の魚達を写真に撮っていました。



海中トンネル



イルカショー

真近でアシカショーも見ることが出来、水族館を堪能していました。

☆ 石巻の子ども達へ

○ お誕生日プレゼント

Hちゃんへお誕生日プレゼント

震災により2歳で孤児になったHちゃん。

祖父母の方と共に、ディズニールランド1泊にご招待し出会った時は、4歳になったばかりでした。昨年のクリスマスプレゼントを贈らせていただいた時、プレゼントのお札と共に、「紫色のランドセルを買ってもらった」と入学を楽

しみにしていました。

7月で7歳に。女の子が大好きな、リカちゃん人形とお洋服のセットと、リカちゃんハウス、クッキーと、カードを添えて一緒に贈らせていただきました。喜ぶ笑顔が目にかびます。おばあさまからお札の電話をいただきました。5年間、孫の成長を温かく見守りながら復興に向けて取り組んでいらつしやる祖父母のお二人に、お元気で長生きしていただきたいと、祈るばかりです。

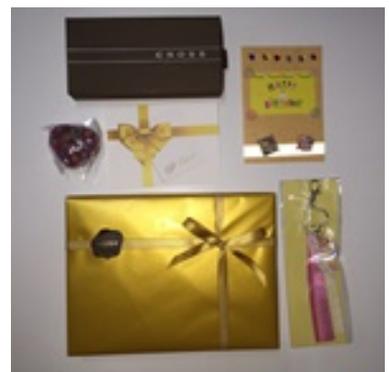


Sさんへのお誕生日プレゼント

ディズニールランド一泊にご招待した時、一人で参加してくれたSさん。ポニーッシュで活動的な女の子でした。8月で18歳に。もうすっかり女性らしくなったのでしようね。クロススのボールペンとクオカード、クッキーにバースデイカードも添えて贈らせていただきました。

Aさんへのお誕生日プレゼント

とつてもおとなしい印象ですがディズニーのことを話すときは、キラキラ輝く笑顔でお話ししてくれたAさんも8月で18歳に。Sさんと同じものを贈らせていただきました。二人の進路はもう決まったのでしょうか。自分の夢に向かって努力し大きく羽ばたいてもらいたいと願います。



☆ 震災避難者支援

9月29日(木)9時30分から12時町田市民フォーラム四階において、東日本大震災で町田に避難している方々を対象にキーホルダー作りを指導させていただきます。

避難されてきている方々も地区ごと帰郷が可能になり、お集まりなられる方も徐々に少なくなりつつあります。

残された方たちの心中を察し、心してお手伝いさせていただきます。参加ご希望の方は、本部までお問い合わせ下さい。

生き続ける尊い志

7月に起きたバングラデッシュエロ事件は日本人7人が亡くなるという最も身近で衝撃的な事件でした。途上国の発展に貢献しようという志と夢を持って行った方達の思い、今まで培ってきた知識や技術を生かし、協力したいとの思い、尊い志を持った方々が世界中にいらっしゃることを知りました。

若くして夢を持ち、80歳になっても大きな夢を持ち、いくつになっても人の為に役に立ちたいと思う心があり、大事な心を持ち尊い種を蒔かれています。知りました。

何を見、何を思い、どのような行動をし、何に心を注ぐかと思いました。生きていく間はしっかり生き、自身に生まれてきてよかったと思えることが一つでも二つでも心に刻まれて終わる自分でありたいと思いました。

心よりご冥福をお祈りしますそして、皆様の志が人の為を思う心が人々の心の中にいつまでも生き続けると思います



○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191
ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

☆ 聖地を訪れて(インド)

ガンジス河で

釈尊が悟りを開かれたブッダガヤを後にしてバラナシを訪れ、早朝まだ暗いうちにホテルを出、歩いてガンジス河へと向かった。黎明のガンジス河は、最後の地を目指し筏でこの河を渡られたという釈尊への想いを誘ってくれそうで息をのんで見渡した。

今回は、故Tさんの希望であった「遺骨をガンジス河に流してほしい」との願いを叶えてあげたく日本から彼女の遺骨を携えての訪問でした。小舟をチャーターし、現地の僧侶と共に中洲近くの水のきれいなところまで行き、インド式のお経をあげてもらい、彼女の遺骨を散骨させていただいた。彼女は、生前心を学ぶことに熱心で、ボランティアにも惜しみなく力を注いでくださいました。そんな彼女のことを想いながら深い感謝を込め、僧侶から手渡された小灯と花も流させていただきました。その後、みんなで中洲あたりで、頭のとっぺんまで水に沈まって沐浴をした。ガンジス河での沐浴は心も清められるといわれていて、沐浴を終えた人たちは、ずぶ濡れの体を拭きながら「心が軽くなったみたい。明日の朝もう一度来たい」と爽やかなお顔で話されていました。舟で岸边に近づくと、水はかなり汚いにもかかわらずたくさんの人が沐浴され

ていて、水面はあたかも色とりどりの花が咲いたかのように女性のサリーが揺らいでいて、人の思いの深さを見る思いでした。

岸の上ではカート(死体を燃すところ)がならんでいて白い煙が絶え間なく立ち昇っていた。遠藤周作著の「深い河」に出てくるタマネギと呼ばれていた青年のことが脳裏をよぎり、この雑踏の中あの青年がどこかにいそうな。弱き人々の為に身を捧げ今もここにいそうな・・・
神に、人に仕えて・・・

☆ 支える会より

○ 8月27日(土) つくし野神社の夏祭りに参加しました。

○ 今後のバザー予定

10月2日(日) 町田福祉園
10月16日(日) 町田第5小学校

編集後記

虫の音に秋の訪れを感じております。日本に来たチャイルドホームの子ども達はいろいろな事情を抱えホームで生活しています。その中でもさまざまな困難を乗り越えてきたことを思うと強いなと思います。

子ども達は今では一生懸命に勉強し、それぞれの道を歩もうとしています。子ども達の夢が叶うことを願っています。そして幸せになって欲しいと思います。(T・I)